

Japan Enterprises and SMB IT Spending Trends (Japanese Version)

AN IDC SPECIAL INTELLIGENCE SERVICE

IDC Japan 年間情報提供サービス「Japan Enterprises and SMB IT Spending Trends (Japanese Version)」では、国内 IT 市場について 21 の産業分野、5 つの従業員規模別／4 つの年商規模別に予測と分析を行います。各産業分野、企業規模に加えて、地域別における製品分野ごとのエンドユーザーの支出規模と 2026 年（または 2027 年）までの推移を予測するとともに、その投資の背景にあるトレンドを分析／解説します。また、ユーザー調査などを通し、日本のエンドユーザーの IT 投資傾向や注力領域、主要製品におけるチャンネル利用動向などを、産業分野や企業規模、地域別ごとに分析します。また、販売チャンネル動向をユーザー側、IT サプライヤー側の双方から調査、分析します。本製品が年間を通し提供する IT 市場トレンド分析は、産業分野別、企業規模別、地域別にソリューション提供を展開する IT サプライヤーの、営業およびマーケティング戦略等に活用いただけます。2023 年は、国内 IT 市場を産業分野別、企業規模別、地域別、販売チャンネル別の分析を継続して充実させます。特に SMB、または地域別での第 3 のプラットフォーム採用動向、およびデジタルトランスフォーメーション (DX) の取り組みの動向に関して定性面、定量面で分析を強化します。

Markets and Subjects Analyzed

- 国内 IT 市場の特徴と動向（産業分野別、従業員規模別、年商規模別、地域別）
- ユーザー企業調査によるエンドユーザーの IT 投資動向の分析
- チャンネル別の市場の特徴と動向
- SMB における第 3 のプラットフォーム利用、デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進動向、IT 支出への影響
- 地域別での第 3 のプラットフォーム利用、DX 推進動向、IT 支出への影響
- 主要ベンダー／地域ベンダーにおけるチャンネル戦略動向

Core Research

- 国内 IT 市場予測（産業分野別、従業員規模別、年商規模別）
- 国内 IT 市場 地域別動向分析
- 国内 IT 市場 販売チャンネル動向分析
- IDC FutureScape: Worldwide Small and Medium-Sized Business 2023 Predictions - Japan Implications
- 国内ユーザー企業調査 産業分野 企業規模別 IT 投資動向と課題
- 国内 IT 市場 SMB／地域別 第 3 のプラットフォーム／DX 推進動向
- 国内 IT 市場 主要ベンダーにおけるチャンネル動向分析

上記リサーチは市場環境などの変化に応じて変更される可能性があります。発行レポートをご覧になりたい場合は以下 Web サイトをご参照ください。: [Japan Enterprises and SMB IT Spending Trends \(Japanese Version\)](#).

Key Questions Answered

- 国内の IT 市場は、製品分野、産業分野、企業規模、地域ごとにどう構成されているのか？
- 産業分野、企業規模別、年商規模別、地域別に、エンドユーザー企業の IT 投資を促進するトピックスは何か？
- 国内企業において最もアプローチが有効なチャンネルは何か？
- ユーザー企業の IT 投資の産業分野、企業規模、地域別での特徴は何か？
- 産業分野、企業規模別、地域別に、エンドユーザーの IT 投資に影響を与える重要なトレンドは何か？
- 国内の SMB、または大都市圏以外の地域の企業で第 3 のプラットフォームの採用がどの程度進んでいるのか？DX の取り組みは始まるのか？

Companies Analyzed

IDC では、次のベンダーの企業戦略、競合状況などの比較／分析を行います（アルファベット順、50 音順）。

IBM、KDDI、NEC、NTT グループ、PCA、SAP、内田洋行、大塚商会、オービック、オービックビジネスコンサルタント、キャノングループ、シスコシステムズ、セールスフォース・ドットコム、ソフトバンクグループ、マイクロソフト、日立製作所、富士ゼロックス、富士通、ミロク情報サービス、リコーグループ、その他